

老人クラブが生き残る道

「参加者が少ない」「若い人が入らない」「会長のなり手がいない」「みんな辞めていく」など暗い話ばかり。これらの問題を解決する方法は？

1.入会したくなるクラブ

- (1)地元の名士が率先して入会
- (2)じつはお誘い屋さんが入会させていた
- (3)魅力的な会名。「エバーグリーン」とか
- (4)好きな活動だけの「参加」も容認。その後入会へ
- (5)「ボランティア」なら入っていいよ
- (6)クラブ活動のメニューを豊富に。まるでカルチャーセンター

2.要介護になってもやめない

カラオケができなくなれば、おしゃべりだけでもいいじゃないか
元保健師、元看護師もメンバーにいるから大丈夫

3.困った時に助け合えるクラブ

- (1)単位クラブより小さなご近所で助け合い。支え合いマップで助け合いの実態把握
- (2)友愛活動を拡大。天性の世話焼きメンバーを配置
- (3)会員から出された困り事を受け止めるスタッフが、常時活動

4.老人クラブは社会の役に立っているか？

- (1)認知症の人をクラブに受け入れ
- (2)介護殺人防止で老々介護を支援
- (3)夫婦参加を推奨。夫の地域デビューを実現
- (4)孤独死防止でメンバー同士の見守り合い強化。各自「見守られ上手」に

5.超高齢になっても豊かな人生

- (1)あなたの豊かさは？ ダイヤグラムに載せてみよう。
- (2)一石六鳥作戦ー効率よく豊かになる法
- (3)老人クラブに入れば豊かになれる！